

TEL 233 340 000  
FAX 224 313 684  
Email gakko@jpschool.cz

# VLTAVA

## 学校教育目標

「自ら学び 共に学ぶ 豊かな心と国際性あふれる たくましい児童生徒の育成」

## 目指す子ども像

「かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子」

## 在チェコ日本国大使館からの海外安全情報(ラマダン期間中の注意喚起)

1 5月21日、イスラム過激派組織 ISIL は、ラマダン期間中のテロを広く呼びかける声明をインターネット上に公開しました。同声明では、特に欧米諸国におけるテロの実行を呼びかけており、民間人を対象としたいわゆる一匹狼（ローンウルフ）型のテロの発生も懸念されます。本年については、6月6日頃から7月5日頃までが、ラマダン月（イスラム教徒が同月に当たる約1か月の間、日の出から日没まで断食する）に当たります。また、ラマダン終了後には、イードと呼ばれるラマダン明けの祭りが行われます。

2 ISIL は、昨2015年のラマダン月（6月18日頃～7月17日頃）においても、同様の声明を発出しています。同声明との関係は明らかではありませんが、昨年のラマダン期間中には、チュニジア沿岸部スースのリゾートホテル及び隣接するビーチが武装集団に襲撃され、外国人観光客38人が殺害されるテロ事件（6月26日）のほか、以下のテロ事件が発生しています。犯行主体は、ISIL 関連組織に限られませんので、様々なイスラム過激派によるテロに警戒が必要です。

- ・フランス：東部リヨンにおけるテロ事件（6月26日）
- ・クウェート：シーア派モスクにおける自爆テロ事件（6月26日）
- ・エジプト：カイロ郊外における検事総長殺害テロ事件（6月29日）
- ・マリ：北部における国連車列襲撃テロ事件（7月2日）
- ・ナイジェリア：北部及び中部での連続爆弾テロ事件（7月5日～7日）
- ・エジプト：カイロ市内のイタリア総領事館前での爆弾テロ事件（7月11日）

なお、上記事件のうち、複数の国で大規模なテロが発生した6月26日は金曜日に当たります。イスラム教では、金曜日が集団礼拝の日であり、その際、モスク等宗教施設やデモ等を狙ったテロや襲撃が行われることもあります。なお、本年のラマダン月については、6月10日、17日、24日、7月1日が金曜日に当たります。

3 ついては、特にラマダン（特に金曜日）及びイード期間中やその前後に海外に渡航・滞在される方は、従来以上に安全に注意する必要があることを認識し、外務省が発出する海外安全情報及び報道等により、最新の治安情勢等、渡航・滞在先について最新の関連情報の入手に努めるとともに、改めて危機管理意識を持つよう努めてください。テロ、誘拐等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、特にテロの標的となりやすい場所（モスク等宗教関連施設、政府・軍・警察関係施設、欧米関連施設、公共交通機関、観光施設、デパートや市場等不特定多数が集まる場所等）を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。

4 なお、本年のラマダン期間中（6月6日頃から7月5日頃）には、仏において、サッカーの欧州選手権（6月10日～、同日はラマダン月最初の金曜日）、自転車のツール・ド・フランス（7月4日～）が予定されています。そのような世界的に注目を集めるイベントについても、テロの標的となる可能性があります。仏でのイベントに関する注意喚起については、以下も参照してください。

- ・「フランス：サッカー欧州選手権等イベント開催に伴うテロの脅威に関する注意喚起」

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcspotinfo.asp?infocode=2016C152>

5 チェコ国内の治安情勢に関しては、差し迫った具体的な脅威は指摘されていません。ただしチェコ政府は、本年3月に発生したベルギーにおけるテロ事件を受けテロ脅威度を下から2番目（要警戒状態、一般的脅威が存在している状態）に引き上げ、この状態を現在も維持しています。

6 海外渡航前には万一来に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

さらに、渡航・滞在先の国・地域において緊急事態が発生した場合、メールアドレス等を登録されている場合には、外務省から随時一斉メール等により最新の情勢と注意事項をお伝えしています。